

【23_070技術系メルマガ】なぜか誰も説明しない『損切り』のやり方

〇〇さん

こんにちは、クロです。

「損切りの仕方(決め方)が分からない」という悩みは、常々色々な人からメールなどで受けとりますし

それに応じて僕なりの見解をメルマガ等で発信していますが

なぜここまで、投機に対する情報は無数に溢れているのに、同じ悩みを抱える人が後を絶たないのか？

これは僕の予想半分ですが、損切りという行為自体、トレードの中では『ネガティブな行動』なので

その基準を決め、一貫して行う事が難しい(≡トレーダー自身の考え方が難しくしている)からだと考えています。

その前提を踏まえたうえで、多くの人が陥りがちな考えと、その思考をどう転換するのが良いのかをまとめてみようと思います。

□
■ 『損切』は『自分の基準』に沿って“予め決まっているもの”である
└──────────┘

まず、損切りが『エントリー前』にハッキリ決まっていなかったり

そもそも損切りは「その後の値動き次第で判断する」としている人が多いように見受けられますが

このやり方をしている限り、継続的に利益を残すのは難しいです。

このようなやり方をしている人に多くみられる傾向として、本能的に「取ったポジションは含み益になってほしい」と祈ってしまいがちです。

そして、想定より大きな含み損を抱える段階になっても「いつかプラ転するかもしれないから」と損切を粘ってしまう。

エントリー時点で損切位置も利確位置も決めていないということは、自分がこれから取るポジションが

どの程度のリスクをそのエントリーで負うのか、事前に把握できていないということを意味するわけで

こういったトレードを繰り返していると、運よくその場では勝って終われたとしても、その末路は「爆損・退場」ということになります。

どれだけ最善を尽くしても、100%勝てる手法が存在しない以上、自分の目線・想定と違う動きだった時

『どこでロスカットして次のチャンスに備えるか』を前もって決めることは、トータルで勝って稼ぐという観点で非常に重要な考え方です。

そして、その損切りには『ルールとしての基準』があれば、迷う必要も無くなるわけです。

■ 『損切』はどこでやるべきか？

さて、問題はその損切をどうやって前もって決めるべきか？ということですが

先程も言及したように、自分の中で『決めごと』を作るのが大事です。

非常に簡単な図ですが、僕の損切りのイメージは常にこんな感じです。

▼ 僕の損切を置くときの基本的な考え方 ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-01-30_16_15.png

僕のエントリーのセットアップが『MAの収縮・発散』と『3波発生に乗ること』を軸としているので

一番基本的なのは、発生した①波目に対するプルバックからエントリーして

上昇(下降)①波を全否定(全戻し)した場合は損切、というパターンです。

図にはMAが乗っていませんが、大抵は『意識したMAを一定以上貫かれた時』が、僕のロスカットポイントです。

これは「この考え方が他の何よりも精度がいいから」というわけではなく

自分がその決めごとに沿ってトレードすることによって『一貫性を保てる』というのがポイントです。

これも、日々の検証とフォワードテストの積み重ねが必要になるところですが

利確・損切の『基準』を自分の中に作り、それをルールとして運用できる仕組みをいち早く作り上げて貰えたらと思います。